

平成28年度 第1回 宇都宮市食育推進会議 議事録

■ 日 時 平成28年9月26日（月）午後2時～3時

■ 場 所 宇都宮市役所14階 14D会議室

■ 出席者

1 委 員（19名）

大森玲子会長，塚原毅繁委員，小森享委員，遠藤秀樹委員，長谷川英一委員，
清水昭子委員，岩本眞砂枝委員，小曾戸典子委員，澤田博子委員，金田淳委員，
半田正子委員，伊沢栄子委員，堀内英夫委員，中野智之委員，刑部郁夫委員，
竹内哲也委員（見形繁委員代理），寺内美栄子委員，荒川昭子委員，青木浩子委員
※欠席委員：福田久美子委員

2 事務局（12名）

[保健福祉部] 部長，次長（保健衛生担当），保健所副所長
[健康増進課] 課長，課長補佐，健康づくりグループ係長，職員3名
[学校健康課] 学校食育グループ係長，職員1名
[農林生産流通課] 職員1名

■ 公開・非公開の別 公開

■ 傍聴者 なし

■ 会議経過

1 開 会

- ・ 委員の過半数が出席しており，本会議は有効であることを報告
- ・ 「附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき，会議公開について説明，了承

2 あいさつ（保健福祉部長）

3 委員紹介

4 副会長の選出

- ・ 前副会長が退任したことから，宇都宮市食育推進会議規則に基づき，委員の互選により，副会長に第1号委員・塚原毅繁委員を選出

5 議 事

(1) 報告事項

ア 「(仮称)第3次宇都宮市食育推進計画」の策定について

(2) 協議事項

ア 「第2次宇都宮市食育推進計画」の評価について

イ 「(仮称)第3次宇都宮市食育推進計画」の策定に向けた課題の整理について

6 委員からの主な意見・質問等（要旨）

(1) 報告事項

ア 「(仮称)第3次宇都宮市食育推進計画」の策定について

意見等なし

(2) 協議事項

ア 「第2次宇都宮市食育推進計画」の評価について

イ 「(仮称)第3次宇都宮市食育推進計画」の策定に向けた課題の整理について

● 委 員

20～30代男性の肥満が多いのは重大な問題である。若いうちから肥満になってしまうと心疾患・脳卒中等の病気になりやすいなど、健康への害が多い。20～30代男性の肥満が多い要因は何か。

○ 事務局

男性の肥満については、20～60代で多いと把握しており、20～30代については、女性のやせを課題として捉えているが、委員ご指摘のとおり、男性の肥満は20～30代から上昇傾向にある。今年度実施した「食育に関する意識調査」の結果から、肥満の人は、朝食の摂取率が低いことやメタボリックシンドロームの予防・改善に取り組んでいる人の割合が低い、外食・中食の利用が多いなどの結果が見られたことから、今後は更に、食事や生活習慣の改善に向けた取組を実施していく必要があると考えている。

● 委 員

20～30代の若い世代は、食育を推進していく対象者としては難しい世代だと思うが、若いうちから肥満対策をしなければ、壮年期になって様々な病気になりやすくなってしまうため、若い世代への食育に力を入れていただきたい。

● 委 員

20～30代女性のやせの問題について、先日、テレビで、働いている人の昼食を見させてもらう番組が報道されており、その番組内で紹介された若い女性の昼食は、キャベツの千切りだけのお弁当であった。このようなことから、若い女性のやせ願望の強

さが伺える。朝食のみならず昼食にも課題があるのではないか。

● 委員

20～30代女性のやせの問題について、知識不足により、無理なダイエットをする人もいるので、正しい知識が身につくよう幼稚園や小学校から教育する必要があると思う。また、20～30代の若い世代や壮年期の問題は挙げられているが、高齢者の食事にも課題ではないか。高齢者が自分で食事を作ることができれば良いが、ヘルパーに頼らなければならない方もいる。知識のあるヘルパーであればバランスのとれた食事ができると思うが、知識のないヘルパーだと、栄養に偏りのある食事になってしまうのではないか。食育は子どもから高齢者までに値する教育だと思うので、高齢者に対する取組も検討してほしい。

● 委員

資料2「第2次宇都宮市食育推進計画」の「3基本目標の評価について」、目標値だけを見ると、5年前と比べ、悪化している数値やほぼ変わらない数値が目立っている。この原因を把握し、「(仮称)第3次宇都宮市食育推進計画」に反映させなければ、「(仮称)第3次宇都宮市食育推進計画」の最終評価時もほぼ改善していない結果になってしまうのではないか。数値が改善しないのはどうしてかということ、きちんと分析する必要があると思う。

○ 事務局

目標値については、国・県含めほぼ横ばい状態であるが、食育への関心など、意識は向上している。しかし、それを実行に移せないために数値が改善していないと考えているので、実践に繋がる取組を検討していきたい。

● 委員

私は講師をしており、学生の食事を見る機会があるが、学校によっては、食堂があってもメニューが貧しく、地産地消に取り組んでいるようには思えないところもある。会議資料を見ると、高校生までは取り上げているが、社会人になる一歩手前の専門・大学生の食生活がおざなりになっているように感じる。もっと学校に働きかけ、昼食の内容も食育に則った形で行ってもらえるべきではないか。

○事務局

学校等と連携・協力しながら食育を推進していくことが重要であると認識しているため、学校等と連携した施策・事業を「(仮称)第3次宇都宮市食育推進計画」盛り込めるよう努める。

● 委員

朝食の摂取について、子どもは食べても親は食べないという傾向が増えているように感じる。親子給食を年1回実施しており、給食を見てもらい取り組みを行っているが、実際に見てもらい意見を聞くと、煮物はほとんど作らないと言った意見がある。共働き世帯が増加するなど、保護者が遅くまで働いている家庭が増えており家庭での食育が難しくなっていると思うので、保育園・幼稚園を通じて食の大切さを伝えていきたいと思う。

7 その他

次回の会議は12月下旬に開催を予定しており、内容については、「計画（素案）」について協議する予定である。

8 閉 会